

科目名 Course Name	社会心理学 Social Psychology			ナンバリング No.	A3-009		
年次	2年	期別	前期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	藤田 依久子						
連絡先(質問等)	C-Learning で対応						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP5						
授業の概要と到達目標	社会心理学は、人が他者との関係の中で、どう考えたり感じたり振る舞ったりするのか、また、人の思考・感情・行動が他者によってどう影響されるのか、を科学的に明らかにしていく。つまり、社会的生物としての人間について総合的な理解を目指す学問である。特に本講座では、個人の思考や感情や行動が、集団によってどのように影響されるのかといった「個人と集団の関係」を中心に論じていく。日常生活場面で生じる人間の心理について学習することで、人間の基本的な心理メカニズムの理解ができるよう社会心理学の基礎的な理論を理解することを目標とする。自分自身の生活の中の身の回りの出来事を社会心理学の観点から解釈することができるようになることを目指す。受講生には講義で論じられる個々の知見を断片的に理解するだけではなく、人間行動に対する社会心理学的アプローチの本質を感じ取っていただきたい。						
授業の方法	視覚教材等を活用しながら講義形式にて進行する。単元の終了ごとに小テストを行う。学期末に筆記試験を実施する。						
学習成果	L01	対人関係技能や社会的ルールにおける心理学的要素を弁え、実践できる。					
	L02						
	L03	① 個人や集団の行動の裏に潜む、反応の根拠や法則性に気づき、言及できる。 ② 興味を持って人間の営みを観察する視点を身につけ、社会的な課題に対し、学んだことと身近な事象とを結びつけることができる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	単元の終了ごとにコミュニケーションカードによる質問を受け付ける。翌週の授業はじめに共有が必要と思われる内容に関して共有する。						
教科書/参考図書	教科書:武田正樹・藤田依久子『個と集団のアンソロジー』ナカニシヤ出版 2011 参考図書:池上知子・遠藤由美『グラフィック社会心理学』サイエンス社 2009 吉田道雄『人間理解のグループ・ダイナミクス』ナカニシヤ出版 2001 安藤香織・杉浦淳吉(編)『暮らしの中の社会心理学』ナカニシヤ出版 2024						
履修上の留意点やルール等	授業に主体的に臨む学生の履修を希望する。事前・事後学習時間の目安は各回 180 分相当とする。						
担当教員の実務経験	実務経験(公認心理師, メンタルコーチ, 医療心理士他 通算 27 年)						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	講義を聴き、重要だと判断したことは主体的に教科書に書き取ること。疑問に思ったことを臆さずに質問できるとたいへん好ましい。演習での積極性は高く評価する。	20			
レポート/作品	演習後のリアクションペーパーの内容を評価の対象にする。演習に真摯に取り組む、その体験から得たことを的確に文章化できていることを期待する。	10			
発表					
小テスト	単元終了毎に、その翌週の授業冒頭で実施し、日常の努力点として勘			10	

	案する。用語は正確でなければならない。小テストを復習すれば、学年末試験での成果が期待できるしくみである。			
試験	設問への妥当な回答、学習の成果が反映されている回答がなされていることが評価の要件となり、日常生活における事象・事例の記述や演習体験、多角的な視点からの考察はおおいに加点の対象になる。		60	
その他				
合計		30	70	

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス:社会科学と社会心理学について
	事前・事後学習	シラバスをよく読み、講義の内容を自分の日頃の生活場面と照らし合わせ、理解するよう自習する。
2	授業内容	「集団」の定義
	事前・事後学習	講義の内容を、自分の日頃の生活場面と照らし合わせ、理解するよう自習する。
3	授業内容	集団凝集性、集団規範、集団圧力
	事前・事後学習	講義の内容を、自分の日頃の生活場面と照らし合わせ、理解するよう自習する。
4	授業内容	同調行動
	事前・事後学習	講義の内容を、自分の日頃の生活場面と照らし合わせ、理解するよう自習する。
5	授業内容	援助行動
	事前・事後学習	講義の内容を、自分の日頃の生活場面と照らし合わせ、理解するよう自習する。
6	授業内容	社会的手抜き
	事前・事後学習	講義の内容を、自分の日頃の生活場面と照らし合わせ、理解するよう自習する。
7	授業内容	内集団ひいき、ブラックシープ
	事前・事後学習	講義の内容を、自分の日頃の生活場面と照らし合わせ、理解するよう自習する。
8	授業内容	意思決定
	事前・事後学習	講義の内容を、自分の日頃の生活場面と照らし合わせ、理解するよう自習する。
9	授業内容	集団形成と集団間の葛藤
	事前・事後学習	講義の内容を、自分の日頃の生活場面と照らし合わせ、理解するよう自習する。
10	授業内容	リーダーシップ
	事前・事後学習	講義の内容を、自分の日頃の生活場面と照らし合わせ、理解するよう自習する。
11	授業内容	社会的ジレンマ
	事前・事後学習	講義の内容を、自分の日頃の生活場面と照らし合わせ、理解するよう自習する。
12	授業内容	囚人のジレンマ
	事前・事後学習	講義の内容を、自分の日頃の生活場面と照らし合わせ、理解するよう自習する。
13	授業内容	態度変容の理論①
	事前・事後学習	講義の内容を、自分の日頃の生活場面と照らし合わせ、理解するよう自習する。
14	授業内容	態度変容の理論②
	事前・事後学習	講義の内容を、自分の日頃の生活場面と照らし合わせ、理解するよう自習する。
15	授業内容	説得的コミュニケーションと態度変容／ 総括
	事前・事後学習	講義の内容を、自分の日頃の生活場面と照らし合わせ、理解するよう自習する。